



一人一人の意識で
まちをきれいに!!

掬水地区を歩いてみると、必ず目にする犬の糞。各自治会で立てられた看板はあちらこちらで見られるものの、なかなか減らないのが現状です。

又、川や林などに不法投棄してあるゴミ。美しい自然に恵まれた地域であるにも関わらず、吸い殻や缶のポイ捨てから、家電、産業廃棄物など市で回収できないものまであらゆる物が、この自然を汚してゆきます。

松阪市の条例では次のように記述されています(抜粋)

松阪市みんなでまちを
きれいにする条例

(目的) 第1条

この条例は、みんなでこのまちをきれいにすることに關し、市、市民等及び事業者の責務を明らかにするとともに、このまちに暮らす人、働く人、学ぶ人、訪れる人等みんなが協力して、路上喫煙禁止区域における喫煙の禁止、ごみ類や飼い犬等のふんの適正な処理に取り組むことにより、清潔で快適かつ安全な生活環境を実現することを目的とする。

(市民等の責務) 第4条

1市民等は、路上喫煙(路上喫煙禁止区域を除く)をするときは、携帯用吸い殻入れを携行し、たばこの吸い殻をこれに収納しなければならぬ。

2市民等は、公共場所において自ら生じさせたごみ類を持ち帰り、又は、空き缶等を回収容器に収納しなければならぬ。



3市民等は、飼い犬等を散歩させるときは、飼い犬等のふんを処理するための用具を携行し、それを当該用具に入れて持ち帰る等、適正に処理しなければならぬ。

犬の糞は、道路だけでなく田んぼの中やあぜ道に排せつした場合も必ず持ち帰るようにしましょう。(田んぼで農機具で作業をする時などに糞が飛び散り、顔や体が汚れる...という被害が相次いで起こっています)

一部の心無い人の(自分さえ良ければ)的な生活態度がこの地域の『美しい環境の中で豊かな気持ちで暮らせるまちづくり』に悪影響を及ぼしています。一人一人の意識を高め、みんなが住みよいまちをつくっていきましょう。



文化祭開催

11月12日(土)
13時~17時
11月13日(日)
9時~15時
榊田地区市民センター

※作品展示の他、参加していただくコーナーや即売(2階大会議室)など盛り沢山です。皆さんお誘いあわせの上、お気軽にお越し下さい。

人材(財)、募集中!!

掬水まちづくり協議会運営は、第3期に入り「絆づくり事業」と「まち創り事業」を両立させる機能、組織が必要となり、また来年度より、本部役員、部長の任期満了に伴う人事改編への対応を計らねばなりません。「掬水まちづくり協議会」第3期の運営に参画して頂く「本部役員」「各事業部長・部員」への応募(自薦、他薦は問いません)を切にお願い致します。今こそ「絆づくり事業」で培った「住民力」が発揮される事を期待し、お待ちしております。

◎応募方法

*お名前・電話番号を

・まちづくり事務局

<05998・288・2675>

・まちづくり協議会会長

(葉山和則)

<0900・3445・9698>

または「一報下さる。」

(他薦の場合は、推薦者のお名前は問いません)

*「人材(財)センター(仮称)」として受けさせて頂きます。

*後日、直接お会いして、詳細を説明させて頂きます。

「三角物語」(八)
角田 夏夫著

四、夢も亦奇なり(その2)

伊勢の津、藤堂藩の儒官、奥田士亨、字は嘉甫、蘭汀と号した。また後に古稀の歳に及んで、藩公より「南山」の号を賜ったことは、前にふれた。

三角は亭の名であるが、退隱の後、好んで、己の俗稱に用いたという。

人間・奥田三角は、天明三年(一七八三)五月四日、静かにこの世から消えた。そして幾多の詩文を残している。また自ら、満と盛を戒め愈退翁の虧盈の戒にならない、豊原の邸内に三角亭を建て、次の詩記を作った。

三角亭詩

桑弧空しく負く四方の志。

三角亭中夢も亦奇なり。

忽ち怪む虫声一面に開くを。深く歎ぶ月影照すこと多時なるを。

人間の交際謙損を重んず。

天道循環満虧を警む。

窓自ら妨げず八風の至るを。

牀頭長く掛く退翁が詩。

又

三角亭中独り茶を煎ず。

人は言う封閉縮んで蝸の如しと。

直方は処し難し下流の地。

円転何ぞ峻阪の沙を停めん。水有り山有り常に月に可なり。

冬となく夏となく永く花を観る。

此年眼を患いて偏に白を嫌う。

藍紙窓に粘じて碧紗に同じ。

中国では、古くから三と六を奇とした。六角形の御堂は見かけることがあるが、三角の建造物は未だ無かったと思われる。

この詩文の中に、三角亭も奇であるが、その中に見る夢も、亦奇であると記した。そして「天道は循環する、満るはいずれは欠く」と詠じた。

これは警めではあったが、人間世界のはかなさでもあった。

ともあれ、彼がこよなく愛した「三角亭」のその後については、一片の記録も残されてはいない。

今となつては、この主を失った伊勢の小亭は、いつ頃、風化し崩れ去ったかは明らかではない。

おわり

※今回の第八話で「三角物語」は最終回となります。ご愛読ありがとうございました。又、「三角物語」の転載を快諾して頂いた出版元の北方文化博物館様にも重ねて感謝いたします。

櫛田消防分団、
大会で大健闘!!

10月23日(日)、松阪市消防・防災訓練センターで開催された『松阪市消防団小型ポンプ操作大会』に櫛田消防分団をはじめ、松阪市内の消防団9チームが出場しました。

この大会は、消防技術の向上と士気の高揚を目的とした大会で、礼式から始まり、小型ポンプによる消火操作を、実際の消火活動に必要な(安全確保・チ

ームワーク・機敏な動作)などから競う競技会です。

櫛田消防分団は、半年前からご家族の協力の下、仕事を終えて夜に訓練を重ねてきた結果、タイムでは9チーム中2位という好成績を獲得しました。残念ながら、総合では惜しくも優勝を逃しましたが、団員の素晴らしい演技に、見守っていた関岡団長をはじめとする団員の皆さんは惜しみない拍手を送っていました。



掬水草刈り十字軍、
まだまだ募集中です!!

日時 11月27日(日) 8:30 雨天順延
場所 松阪市総合運動公園 (現地集合)

まちづくり協議会では、
総合運動公園の草刈りを活動資金に充てています。



ご協力頂ける方は櫛田地区市民センターまで
ご連絡ください。

※昼食・飲み物他はこちらでご用意いたします。
(作業は午前中で終了する予定です。)
※参加して頂く方は作業のしやすい服装でご参加ください。
※刈った草を運ぶ作業もありますので、

手ぶらでの参加も大歓迎です。

実施の有無の確認は、当日市民センターの留守番電話でお願い致します。【櫛田地区市民センター ☎28-2675】